

大支援研ニュース

特別支援教育

平成26年10月3日発行
大阪府支援教育研究会
会長 森田義昭
(茨木市立大池小学校長)

ホームページで
お知らせが
ある場合があり
ます

<http://daishienken.visithp.com/>

ニュースや本会活動への問い合わせ・ご意見は、Mailにて件名に「大支援研問合せ」など「大支援研」を入れてください。

jimukyoku2009@daishienken.visithp.com

アドレスをテキストで載せるとスパムメールが多数届いてしまうので、画像で張り付けてあります。

◇今後の平成26年度の役員総会の予定です。

役員総会（役員の方はご予約願います。）

第3回 日時：平成27年1月22日（木）午後3時～5時 : たかつガーデン

冬季研修会のご案内（1次案内） **添付の案内をご覧ください。**

内容・講師等については検討中です。詳細は二次案内（11月下旬）でお知らせいたします。

日時 平成27年（2015年）1月24日（土）
午前10時～午後4時（9時40分 受付開始）
午前の講座（午前10時～12時）
午後の講座（午後1時30分～3時30分）
場所 たかつガーデン 大阪市天王寺区東高津町7-11
内容 午前・午後 それぞれ いくつかのテーマ別講座を実施いたします。

ICT活用プロジェクトiPad体験会案内 **添付の案内をご覧ください。**

日時 平成26年10月10日（金）15時30分～17時00分
会場 大阪府立視覚支援学校 会議室（会場校には問い合わせ不可）
内容 「iPadの基本機能紹介」「iPadの基本操作を学ぶためのアプリ紹介」
「iPadで作製した教材の紹介」「フリータイム&質疑応答」
講師 大阪府支援教育研究会研究部ICT活用プロジェクトスタッフ
参加費 無料 視覚支援学校のiPadをお借りします。
定員 20名 **申し込み等、添付案内参照してください。**
今回と同様の体験会を大阪府三島地区で後日実施する予定です。

夏季研修会の報告とアンケートのまとめをご覧ください。添付の報告をご覧ください。

7月24日（木）14時～ 大阪市立住まい情報センターにて

関西国際大学 中尾繁樹先生 「みんなの特別支援教育 ～授業のユニバーサルデザイン化をめざして～」
というテーマでご講演いただきました。

会場いっぱいの220名の方の参加がありました。参加申し込みを開始するやいなや多くの申し込みが殺到するなど、ご講演の内容は、まさに現場のニーズに直結するものでした。従来の大支援研の取り組みと比べて、小中学校からの参加者の比率が高く、支援学校からの参加者が少なかったことなど、学校現場のニーズを如実にしめしていたと思います。

（夏季研修会の報告とアンケートのまとめを添付しておりますのでご覧ください。）

総会の報告記事を添付しました。

お知らせ

ICT活用プロジェクト夏期講座1日目に第9研修室(昼食場所)にハンティング帽の忘れ物がありました。
心当たりがある方はホームページをご覧くださいの上、問い合わせをお願いします。

他団体研究会のお知らせ

大阪ムーブメント教育研究会

http://www.good.zaq.jp/osaka_movement/sub2.html

定例研究会を、2ヶ月に1度（偶数月土曜日午後）におこなっています。

★第54回 定例 研究会★

平成26年10月25日（土）14：00～16：00

ムーブメント教育・療法の基礎－創造性ムーブメント－

申し込みは、上記URL から

平成26年 9月 9日

各 学 校 長 様
支援教育関係者 様

大阪府支援教育研究会
会 長 森 田 義 昭
(茨木市立大池小学校校長)

冬 季 研 修 会 の ご 案 内 (一次案内)

大阪府支援教育研究会主催で、以下の要項で冬季研修会を実施いたします。
現在、講座の内容・講師等についての検討をすすめております。
詳しい内容および申し込み方法については、後日、二次案内でお知らせいたします。
ふるってご参加ください。

記

- (1) 日 時 平成27年(2015年) 1月24日(土)
午前10時～午後4時 (9時40分 受付開始)
午前の講座(午前10時～12時)
午後の講座(午後1時30分～3時30分)
- (2) 場 所 たかつガーデン
大阪市天王寺区東高津町7-11
- (3) 内 容 午前・午後 それぞれ いくつかのテーマ別講座を実施いたします。
詳しい内容は二次案内でお知らせします。
- (4) 詳細および申し込み方法
後日、二次案内でお知らせいたします。(11月下旬を予定しています)
大支援研のHPおよびニュースをご参照ください。
<http://daishienken.visithp.com/>
- (5) 問い合わせ先 大阪府支援教育研究会 書記(研修部担当) 佐藤正幸
摂津市立第四中学校 TEL 06-6349-6181
FAX 06-6349-6184
または 大支援研のホームページからお問い合わせください。

平成26年9月12日

支援教育関係者 様

大阪府支援教育研究会
会長 森田 義昭
(茨木市立大池小学校長)

大支援研研究部 ICT 活用プロジェクト iPad 体験会案内

大阪府支援教育研究会研究部 ICT 活用プロジェクト「iPad 体験会」を下記のとおり、実施することとなりましたので、ご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成26年10月10日(金) 15時30分～17時00分
※質疑応答の内容により、個別に延長する場合があります。
2. 会 場 大阪府立視覚支援学校 会議室
〒558-0023 大阪府大阪市住吉区山之内1丁目10-12
JR阪和線 我孫子町駅より 約 400m
南海高野線 我孫子前駅より 約 700m
地下鉄御堂筋線 あびこ駅より 約1200m
※公共交通機関を使ってお越しください。
3. 内 容 「iPadの基本機能紹介」「iPadの基本操作を学ぶためのアプリ紹介」
「iPadで作製した教材の紹介」「フリータイム&質疑応答」
※以上の4点を予定していますが、当日の受講者のご要望等も考慮します。
4. 講 師 大阪府支援教育研究会研究部 ICT 活用プロジェクトスタッフ
5. 参加費 無料
6. 持ち物 視覚支援学校のiPadをお借りしますので必要ありません。
7. 定 員 20名
8. 対象者 支援学級担任又は通級指導教室担任の方でiPadの初心者(以下の段階の方)
・「iPadを触ってみるレベル」
(例) スワイプやホームへの戻り方や基本操作を知りたい段階
「iPadを使ってみるレベル」
(例) カメラで写真を撮ってみて、それをピクチャから見てみる段階
9. 申し込み 下記申し込み先まで、以下の内容を明記の上、e-mailにてお申し込みください。
(必ず受付受理のメールを返信します！)
(1) 氏名・所属 (2) 連絡先(e-mail)
10. 申し込み先
及び問い合わせ先 平峰厚正(泉南郡熊取町立南小学校)
e-mail: ict2014※daishienken.visithp.com (※印を@に変えてください)
※問い合わせは、パソコンのe-mailにてお願いします。
なお件名は「大支援研 ICT 活用 iPad 体験会 問い合わせ」でお願いします。
※Yahoo!メールにて、申込み受理メールを送ります。
※当日の連絡先 ICT 活用プロジェクト事務局 平峰 090-6055-3405
※会場の視覚支援学校に直接電話等で問い合わせしないようにお願いします。
11. 備 考 今回と同様の体験会を大阪府三島地区で後日実施する予定です。

2014年度 夏季研修会 報告



7月24日(木) 14時～ 大阪市立住まい情報センター ホール

今年度の夏季研修会は、関西国際大学の中尾繁樹先生に、「みんなの特別支援教育 ～授業のユニバーサルデザイン化をめざして～」というテーマでご講演いただきました。会場いっぱいの220名の方の参加がありました。参加申し込みを開始するやいなや多くの申し込みが殺到するなど、ご講演の内容は、まさに現場のニーズに直結するものでした。従来の大支援研の取り組みと比べて、小中学校からの参加者の比率が高く、支援学校からの参加者が少なかったことなど、学校現場のニーズを如実にしめしていたと思います。

ご講演の中身は、幅広く多岐にわたり、具体的な事例も多く、参加者の「もっと聞きたい」という声が多かったのもうなずけます。笑いあり、動きありの2時間、集中が途切れないものでした。

主な内容を記します。

- ・「ユニバーサルデザイン」というのは筑波大学・関西学院大学を中心に研究が始まったが、実際の学校現場で、大学での研究を真似することは、少し違う。
- ・ユニバーサルデザインとは「どの子にでもわかる授業」を表している。
- ・特別支援教育は、いじめ・不登校を防ぐための予防の教育である。
- ・自分自身のことについて、子ども達はわかっていない → 教師はもっとわからないはず。子どもを見る視点は100個くらいある。
- ・子どもたちの姿勢や運動量の課題 (例) 座り方がおかしい、骨盤をのばす力がない
- ・「ことばと子どもの多様性を理解する」
- ・インクルージョンとは? 障がいのない子が障がいのある子を理解する教育
- ・なぜ秋田・シンガポール・小野市の学力が高いのか。
 - ・教師の授業に対する研究の食欲さ
 - ・幼・小・中・高の連携
 - ・早期からの特別支援教育についての意識改革と体制づくり 等々
- ・「学校で出来ること」と「家族で出来ること」が違う
- ・教師が大切にしないといけないこと
 - 校長のリーダーシップ 教員の意識改革 アセスメントと教員の努力
 - 研修を楽しむ 子どもの変化を実感する 続けること 困った時の「救急車」
- ・専門性も大事だが、臨機応変に対応することも大事
 - ・どんな授業形態をしないといけないか。→ざわざわしているところで授業をしてはいけない
 - ラーニングピラミッドがあって、教えあう仕組みをとったら良い。
 - ・子どもたちに目覚めの時間をどう与えるか (覚醒状態にする)

また機会あれば、中尾先生の様々な話をお聞かせいただきたいと思います。ほんとうに感謝の気持ちいっぱいの講演会でした。参加された方のアンケート集約したものを別途まとめていますのでご覧ください。

今回、多くの方から参加申し込みがあり、定員いっぱいとなりました。一方、参加申し込みの方法などで、申し込みされた方に分かりにくい状況などがあり、多くの方にご心配・ご迷惑をおかけしました。詳しくは、別途アンケート集約の報告文の中で記載しております。今回の皆様のご意見などをもとに、今後の研修会の運営及び申し込みについて検討し、より良い形のものを目指そうにします。

2014年度 夏季研修会

参加された方のアンケート集約

以前からお願いしていた中尾先生のご講演がようやく実現した夏季研修会でした。

2時間があっという間に感じる熱い内容、豊富な話題、現場のニーズに直結するアイデア、… 参加された方のアンケートの多くが、感謝と感激を書かれておられました。

もっと聞きたかった。また聞きたい。そんな方が多くおられました。

今までの大支援研の取り組みと比べ、支援学校の方の参加が少なく、小中学校の教職員が多かったのも今回の特色でした。支援学級担任の方が多かったのですが、話の内容は、通常学級などすべての学校の学習活動・児童生徒の学校生活に関わるものであり、どの教職員も聞き考えるべき内容のものばかりでした。



主な感想・意見などを紹介します。

- ・ 今回の内容、先生、すごく良かったです。また、研修会の案内を全体的に早くしてほしいです。
- ・ 授業に大切なのは覚醒状態という指摘にとっても納得しました。学校で取り組めることを考えて、2学期から出来ることから取り入れていこうと思いました。たくさん笑って、元気をもらいました。時間がなくて見られなかったスライドをじっくり読みたかったです。
- ・ 中尾先生の講座を一度受けたかったので、今回のこの夏季研でお話をきけてとても嬉しかったです。2時間休憩無しの長丁場でしたが、楽しく笑いもあり、あっという間でした。勉強になりました。
- ・ 姿勢保持が苦手で、板書を写すのが苦手な子を担当しています。お話を聞いて、その子の姿が浮かんできて、骨盤の向きや目の動きについて十分に検証していないなあと気づきませんでした。
- ・ 今日の研修を振り返って2学期の実践に繋げていけたらいいなと思いました。

- ・ 支援学級の担任だけではなく、全職員で共有することの大切さを実感しました。
- ・ 本当に楽しい2時間でした。まだまだ聞きたいことがたくさんありました。(実践しようとおもうこともたくさんありました。改善点も多くあります。ワクワクしています。) 質疑応答の時間があれば嬉しかったです。
- ・ 子ども達の状態をつかむことから、授業の導入方法まで細かく説明して頂いたので2学期からの授業に使っていきたいと思います。
- ・ 授業作り以前に気にかけること、大切にすべき事についてお話が聞けてよかったです。
- ・ 授業のユニバーサルデザイン化を学校全体としてどのように進めていけばよいか、と参加させていただきました。
- ・ 支援学級在籍ではないが、入り込みで気になっていた子が不登校になり始めたので、その子を具体例として何をすればよいか、その子だけでなく全体の支援教育としてよく分かった。
- ・ 話を聞いて、すぐに始められること、すぐに直せることがあったので、2学期から実践したいと思います。
- ・ 教室の整備や子どもの対応など、わかりやすく参加して良かったなと思いました。色々な具体的な手立てを時間の余裕があればもっと聞きたい！！と思いました。2学期から参考にさせていただきます。ありがとうございました。
- ・ 小学校の教師を経験されているので、具体的で参考になる話がたくさん聞けた。目の前の子どもの実態把握が重要で、教師に合わせるだけではなく、子どもに合わせることの重要性をより確認した。子どもがうまくできない→教師の教え方、やり方を見直すようにする。「身体づくり」の勉強をしたいと思います。
- ・ たくさんのことを教えていただきました。笑いをたくさん交えながら、子どもの見方・授業づくり・環境づくりなど勉強になりました。
- ・ わかりやすく楽しい研修でした。もっと詳しく聞きたかったです。自分のことや自分のまわりの子どもたちに置き換えて色々考えることができました。
- ・ 子ども第一で考えていくことが大切だと思いました。
- ・ 机間巡視のポイント「蝶のように…」というのがバッチリ頭に入りました。
- ・ 授業づくりの話をもっと聞きたかった。
- ・ 科学的な知見からもお話し頂き、とてもためになりました。
- ・ 一方的な話でなくこちらも参加できる形が良かった。
- ・ 中尾先生の講演は何回聞かせて頂いていますが、毎回元気を頂いて帰ることができます。
- ・ 特別支援教育は子どもの実態把握だということを心にとめていきたいと思います。
- ・ あちこちでひっぱりだこの中尾先生にお話頂けて貴重でした。

- ・大変わかりやすく、具体的な例をあげてお話していただきましたが、パワーポイントでうつされたものがレジュメにのっていないものも多く全てのせてほしかったと思います。
- ・パワーポイントの資料を全て印刷して欲しかったです。多くの資料を見せていただき、後日に活かしたくと思いますが、頭の中には残っていません。(10%)
- ・頂いた資料よりも、前に映った内容がとてもよかったので、もう少したくさんパワーポイントの資料が頂きたかったです。話の方法や内容も楽しかったので、最後まで聞きやすかったです。
- ・ユニバーサルデザイン化された授業についての話を期待していたので、少しききたいはずな面もありましたが授業のこと、子どもの困り感、学級経営の話を受けて良かったです。通常学級の担任なので、支援の立場からの視点が知れて面白かったです。
- ・とても興味深い話ばかりでした。自分の指導を振り返って、反省することがたくさんありましたし、ああ！！なるほどと思う話がたくさんありました。座る姿勢、鉛筆の持ち方もわざとそうしてるんじゃないかと、育ってきた環境がしていることもよくわかりました。
- ・支援が必要な子だけでなく、通常の学級での子どもたちとの関わりで大切なことを多く学ぶことができました。
- ・学級の中で指導が入りにくい子どもたちには様々な背景があるのだと教えていただきました。子どもたちが分からないこと、困っていることをもっと探り、具体的にどんな支援をしていけばよいかしっかり勉強をして授業・学級経営にのぞんでいきたいと思います。
- ・すぐにつかえるスキルから納得のいく理論まで分かりやすく教えて下さって有難かったです。もう少し多くのスライドをプリントアウトしていただければ得るものが多くなりうれしいです。
- ・期待していてそれ以上に実りのある2時間でした。ぜひ、大阪の南の方にも来ていただきたいです。
- ・眼球運動の気になる子がいるので、やってみようと思います。
- ・事例やペアワークなどがたくさんあり、わかりやすかったです。
- ・「授業のユニバーサルデザイン」は、流行していますが、すべての教育活動のことだと、改めて思いました。
- ・特別支援で、クラスでも抽出でも、具体的にユニバーサルの事例を大きく印刷したり、多くの事例を1つ1つ説明して欲しかった。(すぐに活かせる事例)
- ・運動会が近いので、「ぼくたち私たちが困ること」運動会編をもう少し聞きたかったです。

この研修会の運営全体について

- ・場所は駅に続く建物で来やすかった。
- ・机があると便利だと思います。
- ・本などの販売もしてほしかったです。
- ・7月になって出やすくなりました。

大支援研として、これからどのような研修会や講演会を行えばよいか。

- ・「発達性協調運動障害」について聞きたい
- ・具体的な教材についての研究・子ども同士の関係作りについて聞きたい。
- ・ワーキングメモリー（湯沢先生）・集中力を高める（上島先生）など。
- ・中尾先生が今日講話されていない内容の研修会。
- ・今回のようなユニバーサルデザイン化についての講演会
- ・就労支援の見学や、今回の少年院訪問もまたやってほしいです。
- ・ユニバーサルデザインの研修は今後も続けてほしいと思います。また、ADHD傾向・自閉傾向・アスペルガー傾向などの通常学級の子どもへの配慮を具体的に教えてほしいです。
- ・笑える話が大事やなど実感できました。ラーニングピラミッドはきいてるだけでより実践納得です。そんな講演をまたお願いします。
- ・学校内で支援体制をどう整えるのか、意識のない教員にどう共通意識をもってもらったらよいか。
- ・だれでもわかる授業の実例など。
- ・中尾先生の話をもっと聞きたいと思います。（子どもの具体例などもあげて）
- ・通常の教室で学習する子どもの中に、たくさん支援を必要とする子もいます（増えている？）。通常の教室での支援について多くの先生が研修してほしいと思います。できれば支援担当の先生以外の多くの先生が参加できる（参加したいと思う）研修があればいいなあと思います。
- ・明日から授業や生活指導にいかせられる内容のもの。
- ・2学期から使えるような教材、教具の話を知りたい。
- ・合理的配慮について知りたい。
- ・自立活動の教材、やり方
- ・子どものつまずきに対する具体的な支援方法
- ・特別支援のソーシャルワーク
- ・就業支援(就職・進学)についての研修

参加申し込みについて

- ・返信がなかったので参加出来るか不安だった。
- ・返信の方法を考えて欲しいです。 ・返信はG-mailでは届かなかった。
- ・1回目で届かず不安だったので、備考欄に書いて返信された。
- ・学校のPCで申し込み、個人のPCで自動返信を受けようとしたが、自動返信が届かず、後日再度申し込み画面にて私の申し込み状況を問い合わせました。
- ・専用申し込みクリックは学校のPCからはガードがかかって送ることが出来ませんでした。 ・返信がなく、若干、行っても大丈夫なのか、心配だった。
- ・自動返信がなく、何度もメールを送ってしまい、申し訳なかった。
- ・自動返信がすぐ届くと思っていたので、数日たっても届かず、重複申し込みをしてしまいました。
- ・申し込み後2週間程たって問い合わせ、FAXをいただきました。
- ・同僚に返信が届かなかったために来れなかった人がいます。(受付に名前がありました。残念でした。)
- ・申し込みが楽。 ・FAXでも送信可にして欲しい。
- ・問い合わせ先の先生となかなか連絡できなかった。

昨年度までの夏季・冬季研修会には複数の講座があり、とくに実技研修は定員の順守が必要なため、参加申し込みされた方に対して個別の返信メールを送っていました。

しかし今回は講演のみなので、参加申し込みがあった時点で受付確定とすることとして、その旨を二次案内文・自動返信の文に記載しました。そして自動返信が届かない場合には問い合わせ下さいと二次案内に記載しましたが、届かない場合が想定よりもはるかに多く、多くの方に不安な気持ちを抱かせてしまうこととなりました。

アンケートより

学校のPCから申し込み 自動返信届いた(13) 届かず(48) 未確認(9)

個人のPCから申し込み 自動返信届いた(11) 届かず(18) 未確認(2)

スマホ・タブレットなど 自動返信届いた(2) 届かず(14) 未確認(0)

学校のPCから申し込みされる方が増えましたが、その場合、自動返信が届かない場合が多いようです。学校によっては申し込みも不可の設定となっているところもあるようです。個人のPCにおいても迷惑メール設定などの状況によっては、自動返信が受信されない事例があるようです。何人もの方から問い合わせがありました。前日・当日に問い合わせいただいた方には対応できなかった場合もありました。

次回以降、今回のケースを参考に、より確実な方法での受付を検討します。

もし、今後、参加申し込みで、何かお気づきの点や、お困りのことがありましたら、早めにお問い合わせいただきたく思います。よろしくお願ひします。

大阪府支援教育研究会総会報告



平成26年5月15日（木）平成26年度大阪府支援教育研究会総会がたかつガーデンにて行なわれました。

ご来賓の大阪府教育委員会支援教育課参事 長谷川陽一様より、ご祝辞と最近の支援教育に関すること、今年度の支援学級の設置状況、新設の支援学校などの情報を頂戴しました。議長には大阪狭山市立南第二小学校の山下善久校長先生が選出され、議事はまず平成25年度事業報告、収支決算報告、会計監査報告が承認されました。その後、和田副会長から、平成26年度役員選出について経過報告があり、新役員就任あいさつがありました。一部を紹介しますと、今年度の新会長は茨木市立大池小学校、森田義昭校長先生、副会長は池田市立石橋小学校、今川恵美子校長先生と昨年度に引き続き、大阪府立和泉支援学校の和田義朗校長先生です。また、本部書記は6名になりました。その後議事は平成26年度事業計画（案）、予算（案）と続き、全て承認されました。夏季研修会は7月24日（木）に関西国際大学の中尾繁樹氏をお招きしておこなう予定です。施設見学会は8月22日に宮川医療少年院にて行う予定です。ICT活用プロジェクト夏期講座は8月14・15日（木・金）に大阪府教育センターにて行われる予定です。

すべての議事終了後、情報提供として首席指導主事の瀧澤公子様より、「支援教育を巡る国の動向及び大阪府の現状と課題」というテーマで、講演をいただきました。障害者の権利に関する条約から障害者基本法の一部改正、学校教育法施行例の一部改正の流れから大阪府の現状と課題について話していただきました。課題は適切な就学指導について、障害種別による支援学級の充実、交流及び共同学習の充実、「個別の教育支援計画」の活用と確実な引き継ぎ、通級指導教室の充実などです。また、現場でのユニバーサルデザインの工夫などについても詳しく説明していただきました。

